

## 第7課

### ❖❖ 電話でピクニックの相談をする(2) ❖❖

#### スキット

引き続き、電話でピクニックの打ち合わせをしているのぞみとサイダですー

Nozomi (N) : Basi, tuwaalike Yuki, Daisuke na Emi, twende pamoja.

Saida (S) : Vizuri.

N : Kabla hatujaenda mandari,  
**tufuatane tukanunue** vitu katika duka la *konbini* ?

S : Vyema.

N : Haya, basi, nangojea kwa hamu sana kwenda mandari.

Kwa heri.

S : Na mimi pia, kwa heri.

のぞみ(N) : じゃあ、ユキとダイスケとエミも誘って、一緒に行こうか。

Jaa, Yuki to Daisuke to Emi mo sasotte, isshoni ikou ka.

サイダ(S) : いいね。

Ii ne.

N : ピクニック行く前に、  
ピクニック行く前に、  
一緒にコンビニで買い物していく？  
isshoni konbini de kaimono shite iku ?

S : いいね。

Ii ne.

N : じゃあ、ピクニック楽しみにしてるよ。  
Jaa, pikunikku tanoshimini shiteru yo.

じゃあね。

Jaa ne.

S : 私も、じゃあね。

Watashi mo, jaa ne.

## 解 説

第7課では、次の項目について学びます。

- ◆ [動詞シルシ形] シ・シテ・シヨウ式(2)  
… 「行って～」のシルシ
- ◆ [名詞クラス] クラス 5/6・7/8

❖ · ❖ · ❖

### ◆ [動詞シルシ形] シ・シテ・シヨウ式(2)

まずは、第6課で見た動詞シルシ形シ・シテ・シヨウ式の補足説明から始めます。

スキットの中にこのような文が出てきましたね。

N : (…), **tufuatane tukanunue** vitu katika duka la *konbini*?  
 <(…), 一緒にコンビニで買い物していく？>

‘tufuatane tukanunue’は、シ・シテ・シヨウ式ですね。文字通りは〈一緒に連れ合っ、行って、そして買おう〉という意味です。

tufuatane tukanunue    <連れ合っ、行って、そして買おう>

文の前半部分の‘tufuatane’の動詞本体‘+ fuatana’が〈連れ合っ〉という意味、後半部分の‘tukanunue’の動詞本体‘+ nunua’が〈買う〉という意味です。では、〈連れ合っ、行って、そして買おう〉の「行って」という意味は、どこで表わされているのでしょうか。…‘tukanunue’の中の‘-ka-’が「行って」という意味を表わしているのです。

‘-ka-’はシ・シテ・シヨウ式の中に現われる、「行って～」のシルシです。

シ・シテ・シヨウ式の  
**-ka-**  
 「行って～」のシルシ

このシルシはシ・シテ・シヨウ式の主語のシルシの後の枠に入ります。このシルシに否定形はありません。

▽ 「行って～」のシルシ(シ・シテ・シヨウ式)

主語の シルシ	- <b>ka</b> -	{ 目的語の シルシ }	+ [動詞本体]
( <u>-a</u> ⇒ -e )			

例を見ておきましょう。

((例 1)) Uende ukalale.

〈行って, (行って, そして) 寝なさい。〉  
( '+ lala' 〈寝る〉)

((例 2)) Tukutane tukazungumze.

〈会って, (行って, そして) 話しましょう。〉  
( '+ zungumza' 〈話す〉)

文の前半部分には、シ・シテ・ショウ式以外に、シテ・シロ式が入ることもあります。

Nenda ukalale.

〈行って, (行って, そして)寝なさい。〉

また、文の前半部分は省略して言うこともあります。

Ukalale.

〈行って, 寝なさい。〉

❖ · · ❖ · · ❖

#### ◆ (名詞クラス) クラス 5/6・7/8

さあ、名詞クラスについて、この課ではクラス 5 とクラス 6、クラス 7 とクラス 8 について見ていきましょう。まずはクラス 5 とクラス 6 からです。

クラス 5 とクラス 6 には多くの果物名が含まれています。また、クラス 6 のみに液体名が含まれています。他にもこのクラスには目や歯、耳なども含まれています。基本的にクラス 5 の名詞は 'ji-' から始まりますが、実際には 'ji-' の付かない語が多いです。クラス 6 の名詞は 'ma-' から始まります。

[クラス 5 / クラス 6]

- 果物名
- 液体名 (クラス 6 のみ)
- 目, 歯, 耳 など

名詞のシルシ:

**ji- / ma-**

例を見ておきましょう。

	クラス 5 (単数)	/	クラス 6 (複数)
■	jiwe	/	mawe
	〈石〉		〈石〉
■	tunda	/	matunda
	〈果物〉		〈果物〉
■	daftari	/	madaftari
	〈ノート〉		〈ノート〉

クラス7とクラス8には、物の名前が多く含まれています。多くの語がクラス7は'ki-'から、クラス8は'vi-'から始まります。中には、クラス7では'ch-'から始まる語、クラス8では'vy-'から始まる語も若干あります。

[クラス7 / クラス8]

○ 物の名前

名詞のシルシ:

**ki- / vi-**  
**(ch- / vy-)**

例を見ておきましょう。

	クラス7 (単数)		クラス8 (複数)
■	kitu	/	vitu
	〈物〉		〈物〉
■	kitabu	/	vitabu
	〈本〉		〈本〉
■	chumba	/	vyumba
	〈部屋〉		〈部屋〉

❖ · · ❖

それぞれのクラスにはクラス共通のシルシがあり、それぞれのクラスと関わる語もそのクラス共通のシルシを付けるのでしたね。クラス3/4とクラス9/10のシルシも見ていきましょう。

その前にまずは〈の〉や〈私の〉, 〈この〉などの型の確認です。このようになっていましたね。'='のところにそれぞれのクラスのシルシが入ります。

▽ 〈の〉や〈私の〉, 〈この〉などの型

=a	〈の〉		
=angu	〈私の〉	=etu	〈私たちの〉
=ako	〈あなたの〉	=enu	〈あなたたちの〉
=ake	〈彼(女)の〉	=ao	〈彼(女)たちの〉
h=	〈この/これ〉	h=o	〈その/それ〉
=le	〈あの/あれ〉	=pi	〈どの/どれ〉



ではまずクラス5の〈の〉や〈私の〉、〈この〉などから見ていきましょう。このようになっています。

▽ クラス5の〈の〉や〈私の〉、〈この〉など

<b>la</b>	〈の〉		
<b>langu</b>	〈私の〉	<b>letu</b>	〈私たちの〉
<b>lako</b>	〈あなたの〉	<b>lenu</b>	〈あなたたちの〉
<b>lake</b>	〈彼(女)の〉	<b>lao</b>	〈彼(女)たちの〉
<b>hili</b>	〈この/これ〉	<b>hilo</b>	〈その/それ〉
<b>lile</b>	〈あの/あれ〉	<b>lipi</b>	〈どの/どれ〉

‘l’の音が共通していますね。この‘l’に‘i’がくっついているものもあります。

例を見ておきましょう。

- jiwe la Nozomi                    〈のぞみの石〉
- jiwe langu                        〈私の石〉
- jiwe hili                          〈この石〉
- Hili ni jiwe langu.            〈これは私の石です。〉

次に、クラス6の〈の〉や〈私の〉、〈この〉などを見ていきましょう。このようになっています。

▽ クラス6の〈の〉や〈私の〉、〈この〉など

<b>ya</b>	〈の〉		
<b>yangu</b>	〈私の〉	<b>yetu</b>	〈私たちの〉
<b>yako</b>	〈あなたの〉	<b>yenu</b>	〈あなたたちの〉
<b>yake</b>	〈彼(女)の〉	<b>yao</b>	〈彼(女)たちの〉
<b>haya</b>	〈これらの/これら〉	<b>hayo</b>	〈それらの/それら〉
<b>yale</b>	〈あれらの/あれら〉	<b>yepi</b>	〈どれらの/どれら〉

‘y’の音が共通していますね。‘y’に、‘a’がくっついているものもあります。

例を見ておきましょう。

- mawe ya Nozomi                〈のぞみの石〉
- mawe yangu                    〈私の石〉
- mawe haya                      〈これらの石〉
- Haya ni mawe yangu.        〈これらは私の石です。〉

続いて、クラス7の〈の〉や〈私の〉、〈この〉などを見ていきましょう。このようになっています。

▽ クラス7の〈の〉や〈私の〉、〈この〉など

<b>cha</b>	〈の〉		
<b>changu</b>	〈私の〉	<b>chetu</b>	〈私たちの〉
<b>chako</b>	〈あなたの〉	<b>chenu</b>	〈あなたたちの〉
<b>chake</b>	〈彼(女)の〉	<b>chao</b>	〈彼(女)たちの〉
<b>hiki</b>	〈この/これ〉	<b>hicho</b>	〈その/それ〉
<b>kile</b>	〈あの/あれ〉	<b>kipi</b>	〈どの/どれ〉

‘ch’の音、あるいは‘ki’の音が共通しています。‘ch’の音になっているのは、後ろの音が母音である場合ですね。

例を見ておきましょう。

- kitu cha Nozomi            〈のぞみの物〉
- kitu changu                〈私の物〉
- kitu hiki                    〈この物〉
- Hiki ni kitu changu.        〈これは私の物です。〉

最後に、クラス8の〈の〉や〈私の〉、〈この〉などを見ていきましょう。このようになっています。

▽ クラス8の〈の〉や〈私の〉、〈この〉など

<b>vya</b>	〈の〉		
<b>vyangu</b>	〈私の〉	<b>vyetu</b>	〈私たちの〉
<b>vyako</b>	〈あなたの〉	<b>vyenu</b>	〈あなたたちの〉
<b>vyake</b>	〈彼(女)の〉	<b>vyao</b>	〈彼(女)たちの〉
<b>hivi</b>	〈これらの/これら〉	<b>hivyo</b>	〈それらの/それら〉
<b>vile</b>	〈あれらの/あれら〉	<b>vipi</b>	〈どれらの/どれら〉

‘vy’の音、あるいは‘vi’の音が共通しています。‘vy’の音になっているのは、後ろの音が母音である場合ですね。

例を見ておきましょう。

- vitu vya Nozomi            〈のぞみの物〉
- vitu vyangu                〈私の物〉
- vitu hivi                    〈これらの物〉
- Hivi ni vitu vyangu.        〈これらは私の物です。〉

